




※文字の大きさは Meiryō UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

部門名： 地域とともにある学校実践部門	エントリー名： 島根県立石見養護学校 平木健滋 平成 30 年度第 1 回中堅教員研修
活動名： 地域と連携した木育の取組 ～生徒の自己実現を地域と支え合う～	
解決すべき課題： <p>平成 29 年度卒業生が、日本一の子育て村を目指している地元である島根県邑南町のために何か協力できることがないかと話し合った結果、「邑南町で生まれた赤ちゃんに自分たちが作った積み木をプレゼントしよう」という提案をした。その翌春から邑南町役場を中心に関係機関が連携して活動が始まった。平成 29 年度に全国的なウッドスタートという木育事業と結びついて邑南町に導入され、木工班で積み木の製作が始まり、平成 30 年度からは卒業生の後を引き継ぎ、木工班が積み木の贈呈に関わることになった。この取組を通して、生徒たちの地域に貢献する気持ちをどのように引き出し、さらなる学習意欲に結びつけるかが重要であった。そのために学校と地域の連携・協働を行う中で、関係機関と共通理解を図りながら、同じ方向を目指すことが必要不可欠であると考えた。</p>	
目標・方針： <ul style="list-style-type: none"> ・積み木の贈呈や製作等を通して、地域に貢献する気持ちを育て自己啓発を図る。 ・木育の取組を通して、本校や特別支援教育についての理解啓発を進め、地域の関係機関と共通理解を図る。 	
活動内容： <p><積み木づくり></p> <p>1 実施計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○積み木贈呈 ・H30 年度 4/19、6/14、8/16、10/18、12/13、2/21 実施。 ・邑南町幼児検診時に 1 歳 6 ヶ月児を対象。(年間約 90 人の幼児へ贈呈) ○積み木製作等の学習 ・作業学習・・・年間 約 220 時間(製作、贈呈、事前事後学習等を含む。) <p>2 取組の様子</p> <p>積み木製作では、通常木工班が製作する製品とは使用する材料等が異なり、木材には邑南町産材を使用したり、塗料には植物油ベースの自然塗料を使用したりする等、生徒たちもその材料の違いを感じながら、丁寧に製作活動に取り組んだ。製作した積み木は、外部機関の検品を受け、基準を満たさなければ納品できないことになっている。生徒たちもそのことは十分わかっており、積み木製作を任された生徒は、気をつける箇所を意識して慎重な様子で製品作りに取り組む姿が見られた。</p> <p>積み木の贈呈では、生徒たちが作った製品を多くの赤ちゃんに手渡した。直接手渡しする際は、どの生徒も緊張する様子が見られたが、経験を重ねるごとに自分で伝えたいことを言えるようになったり、赤ちゃんと積み木を通して関わったりする姿が見られた。</p>	

  		
<p>【写真①②:積み木・オオサンショウオ】 【写真③④:製作活動】 【写真⑤:贈呈時】</p> <p><地域との連携> * 一部のみ記載。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木育会議の開催(適宜開催) * 邑南町役場職員(地域みらい課、保健課、森林組合等) <ul style="list-style-type: none"> ・会を重ねながら、本校や生徒についての現状や思いを伝えながら、関係者で情報を共有しながら、ねらいを明確にすることができた。 ○ウッドスタートの取組(保護者からの聴き取り、贈呈準備、矢上高校との連携、他機関との連携) <ul style="list-style-type: none"> ・一つの積み木に込められた思いを関係機関で協力して一人一人の保護者さんに贈呈できた。 ○地域行事、地域の掲示板等の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・本校の木工班製品の展示や取組の様子をポスターにして掲示をした。 ○木育インストラクター養成講座の参加 <ul style="list-style-type: none"> ・地域で開催された木育インストラクター養成講座に教員が参加し、木育に関する知識等を学んだ。 		
<p>活動の成果：</p> <p><積み木づくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・積み木の贈呈を通して、直接積み木を手渡して赤ちゃんや保護者さんと関わったことで、参加した生徒は今後の作業学習への励みになり、貴重な経験となった。また、積み木贈呈時に返信用はがきを渡して、生徒へのメッセージを何通か届き、温かい感想を生徒たちで共有することができた。 * 右表 1 参照 <p><地域との連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携では、木育会議を開催してきたことで、各機関の思いやねらいが明確にされ、関係者全員で積み木贈呈の取組に向けて共有された目標を確認することができた。 <p>このウッドスタート(積み木贈呈)の取組は、地域の関係機関と連携して作り上げてきた。生徒にとって何を大切にするかを学校として考えながら、地域の関係機関と共通理解を図ることが大切であると考え。今後も同じ目標や方向性を関係者と確認しながら生徒の生きる力を育む取組にしていきたい。</p>		
<p>アピールポイント(アイディアや工夫)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校生徒が提案したことを町役場が受け入れてくださり、学校と地域が連携して、地域に生まれてくる赤ちゃんに本校で製作した積み木をプレゼントする取組をしていること。 ・日本グッド・トイ委員会の取組であるウッドスタート事業に邑南町役場が中心となり参画して、地域でウッドスタート宣言をしたこと。 		

<p>生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事に積み木を使ってほしいと思ったし、うれしい気持ちになった。 ・積み木をわたしたとき、赤ちゃんやお母さんがうれしそうに表情だった。 ・赤ちゃんに喜んでもらうためにいい積み木をつくることをがんばっていきたく思った。 ・この取り組みは、続けていきたいと思った。 等 	<p>贈呈した保護者さんからのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に作ってあり安心して遊べるので嬉しいです。 ・音が鳴るのが楽しいみたいで振って遊んでいます。 ・邑南町の木で作った積み木、とても嬉しいです。 ・持った瞬間の手触りの心地良さ、ぬくもりにびっくりしました。 ・本当に素敵な積み木で娘がとても気に入って、毎日遊ぶようになりました。
---	--

【表 1：生徒の感想及び保護者メッセージ】